

● 広報

おくび



2011

8

NO.682



～ はじける笑顔と水しぶき ～

みんなが心待ちにしていたプールの時間。夏の日差しを跳ね返すように、大きな水しぶきを上げて走り回る子どもたち。青空の下、元気な声が響き渡っていました。

シリーズ 防災・減災を考える

24時間降水量観測最多を記録

6・23豪雨を振り返って、改めて安全安心なまちづくりを考えよう

6月23日、活発な梅雨前線の影響により断続的に雨が降り続き、24時間降水量で観測史上最多となる259ミを記録するなど、町内各地に、床下・床上浸水や農地の冠水、道路損壊などの被害をもたらしました。今回は、豪雨被害の状況をお知らせするとともに、災害時の自助、共助、公助について考えます。

24時間降水量

6月の1時間降水量

観測最多

平成23年6月23日、活発な梅雨前線による豪雨が発生。24時間降水量は、山形地方気象台小国観測所（大宮地内）で23日午後6時40分までに259ミを記録しました。

本町は昭和42年に1日降水量532ミを記録した羽越水害を経験していますが、今回の雨量は、気象庁による昭和51年の統計開始以来、最多を記録しました。

1時間降水量では、同観測所で同日の午後4時50分までに52ミを観測し、6月の過去最多を更新しました。

6.23豪雨



冠水したJR小国駅周辺（平成23年6月23日18時15分）

また、荒川流域小渡観測所の水位は5・23m（午後0時40分）、横川流域小国観測所の水位は4・00m（午後6時50分）となり、いずれも避難の必要も含めてはん濫に警戒を要する「避難判断水位」を上回りました。

この豪雨の影響で、農地の冠水や道路、河川、水路の決壊、土砂崩れ、住宅の床上・床下浸水などの被害が発生しました。公共交通機関においてもJR米坂線が運休し、国道113号や県道、町道の一部区間が通行規制となるなど、町民生活に大きな影響を及ぼすことになりました。

小国町豪雨災害対策 連絡本部を設置

この豪雨を受けて町では、6月23日午後1時45分、小国町豪雨災害対策連絡本部（本部長・小林新太郎副町長）を設置し、小国町地域防災計画に基づき、被災状況の把握と被災者への対応、災害の拡大防止に努めました。

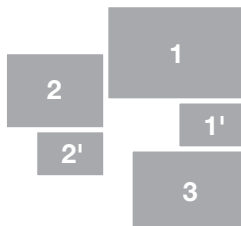
状況



①冠水の影響により、67人の地域住民等が自主避難した平林地区（下の写真は平常時の平林地区同所の様子）

②水路の水があふれ冠水した北地区（下の写真は平常時の北地区同所の様子）

③冠水したJR小国駅構内



町内各地の被害状況

今回の豪雨により、人的被害はありませんでしたが、住宅等への被害や町道などの公共土木施設、農地や林道などの農林業施設で次のとおり、被害個所が確認されました。

■人的被害 なし

■住宅等被害（15カ所）

- ・住宅（床上浸水） 3戸
- ・住宅（床下浸水） 10戸
- ・非住宅（床下浸水） 2戸

■公共土木施設（50カ所）

- ・町道の法面崩壊や路面陥没、土砂流入など 34カ所
- ・河川の護岸決壊など 13カ所
- ・その他斜面崩落など 3カ所

■農業施設（52カ所）

- ・農地の畦畔崩壊など 9カ所
- ・田畑冠水 48ヘクタール
- ・農業用施設の用水路決壊など 36カ所
- ・その他橋りょう損壊など 7カ所

■林業施設（42カ所）

- ・林道の法面崩壊や路面の洗掘など

「6.23豪雨」の被害



- | | |
|---|---|
| 4 | 6 |
| 5 | 7 |
- ④陥没した県道五味沢小国線、尻無沢地内の戸沢橋
 - ⑤用水路の水があふれ冠水した田沢頭地内の水田
 - ⑥路面が陥没した朝篠地内の町道松岡大石線
 - ⑦土砂が流れ込んだ小坂町地内の国道113号

また、平林地区、北地区、小国駅周辺の冠水は、1時間降水量77ミリの記録した平成16年7月11日の豪雨の際も発生していることから、その改善策を明らかにするため、排水体系などの調査を実施することとしました。

集中的な降雨により、用水路や用水路から水があふれ田畑が冠水したり、畦畔（けいはん）が決壊するなど、の被害が確認されています。町では、こうした耕作地などの小規模被害個所で、農業者や水利組合などが自力で復旧にあたった場合、その費用の8割を支援する「耕地小規模災害復旧費補助金」を措置し、農業施設等の早期復旧を支援することとしました。

**耕作地などに対して
「小規模災害復旧費
補助金」を措置**

これらの被害個所の復旧に要する経費は、6,662万3千円となりました。

「自助」・「共助」・「公助」を考えよう

6月23日の豪雨では、住民の安全を確保するため、消防小国分署や町消防団、町などが対応にあたりました。

消防団は、第1分団から第8分団まで、全ての分団に出動命令が出され、各地域の被害状況に応じて、浸水を防ぐための土のうの設置や、小型動力ポンプを使って、浸水箇所からの排水作業などを行いました。

また、平林地区では、側溝の水があふれて道路が冠水し、床上浸水等の危険性が高まったことから、同地



小型動力ポンプで排水作業を行う

区周辺住民に対して、消防小国分署や消防団等が自主避難を呼びかけました。

道路冠水等により 67人が自主避難

自主避難の呼びかけにより、平林地区のかたなど45人と、すみれ保育園の園児や職員など22人の計67人が健康管理センターに避難しました。天候が回復し安全が確認された午後7時頃に、全員が帰宅しました。

自主避難した伊藤俊明さん（平林）は、「私は災害時に備えて、飲み水やラジオ等を日ごろから準備しています。母が高齢で足が不自由なので、避難のとき、どうしても時間がかかってしまいます。幸いにも自宅は水につかりませんでした。消防団からの呼び掛けに従って、すぐに健康管理センターに避難しました。」と話

してくれました。

今回の災害を振り返り、消防団の出動を指示した小国町消防団長、避難誘導にあたった消防小国分署長、園児らとともに自主避難したすみれ保育園園長の3人のかたにお話を伺いました。小国町消防団団長の東正明さんは、次のように話してくれました。



小国町消防団
団長 東 正明さん

「災害が発生した場合、消防団は直ちに駆けつけますが、現場に到着するまではある程度の時間がかかりますので、それまでの間、地域で協力し合い対応することが必要になります。消防団員は、さまざまな機会をとおして災害への対応力

を高めています。人口の減少とともに団員数が減ってきています。安全安心なまちづくりを進めるうえでは、団員数を確保していくことが必要です。それぞれの家庭や地域で防災意識を高めていくことも重要です。」



消防小国分署
分署長 舟山孝夫さん

消防小国分署長舟山孝夫さんは、次のように話してくれました。

「豪雨災害では、わずかな時間で一気に水かさが増してくる場合がありますし、冠水した道路は、側溝が見えなくなりしますので、深みに落ちないよう十分注意し、避難誘導に従って避難し、身の安全を確保することが大切

非常時の持出品（例）

水・非常食

- ☐ 水／1人1日3リットルを目安
- ☐ 乾パン・クラッカー・レトルト食品など

衣 類

- ☐ 衣類・下着
- ☐ マスク・軍手・ゴム手袋
- ☐ 雨具・底の厚い靴

応急医薬品

- ☐ 消毒液・傷薬・胃腸薬・目薬など
- ☐ 絆創膏・ガーゼ・包帯・はさみなど

貴重品

- ☐ 現金・印鑑・預貯金通帳
- ☐ 免許証・健康保険証・キャッシュカード類

生活用品

- ☐ 懐中電灯・乾電池・携帯ラジオ
- ☐ マッチ・ライター
- ☐ 毛布・タオル・ハンカチ・ビニール袋

です。行政機関同士の連携、行政機関と地域の連携を一層深めるとともに、町民の皆さんが、日ごろから災害への心構えを持ち、準備していくことが必要です。」

すみれ保育園園長の五十嵐友明さんは、「日ごろから災害発生時に備えて、水などを備蓄しているほか、子ども達と一緒に避難訓練に取り組んでいます。今回の豪雨を受けて、職場としても、水害に対するマニュアル作成や、避難時、避難後の対応などを

再確認していく必要性を感じました。冠水被害を防ぐためのハード整備も必要だと思えますし、私たちも、町などの行政機関、そして地域と連携して防災意識を高めていきたいと考えています。」と話してくれました。



すみれ保育園
園長 五十嵐友明さん

家庭や地域で減災につながる自助・共助を考えよう

この度の豪雨や地震などの災害時に、町や消防分署、消防団などが、救援・復旧活動などに取り組む「公助」は、同時に複数の個所での対応が求められることなどから、迅速な対応は難しい面があります。

このため、「自らの安全は自らが守る」という考え方のもとに、自らの手で自分や家族、財産を守る備えと行動である「自助」が重要になります。非常時の持出品を準備しておくことや、家族内で緊急時の連絡手段を決めておくこと、そして、避難経路を確認しておくことなどのほか、避難誘導に従って、迅速に避難することも、自分や家族の命を守ることに繋がります。

また、自分たちの地域や職場など、近隣の方々と協力して、地域を守る行動を「共助」といいます。災害発生時に公の救助や支援が到着する

までの間は、「自助」の考え方に基づく行動とともに、地域で協力し合って対応することが大切です。平成7年に発生した阪神淡路大震災では、約6,000人を超える人が亡くなった一方、2万〜2万5千の人が倒壊した家などの下敷きになった状態から、隣近所の人たちによつて救出されたことが明らかになっています。

地域で万が一の場合に、誰がどのような役割を担うのかを事前に決め、防災訓練の実施や身の回りの危険箇所を点検などに取り組む「自主防災組織」を立ち上げ、行動していくことが減災につながります。町としても、自主防災組織の設立にあたっての情報提供や、必要な機材を準備するための経費支援も行っており、地域の防災力の向上に努めています。

自然災害はいつ発生するかわかりません。被害を最小限に食い止めるためには、日ごろから、一人ひとりが防災・減災について考え、家庭や地域で行動していきましょう。

小国町農業委員会委員 新しい顔ぶれ



渡部 初男
(町原 選挙)



渡部 隆吉
(叶水 選挙)



佐藤 和美
(樽口 選挙)



新野 八郎兵衛
(伊佐領 選挙)



伊藤 憲一
(岩井沢 JA推薦)



舟山 武久
(玉川中里 選挙)



小池 啓一
(今市 選挙)



伊藤 実千昌
(田沢頭 選挙)



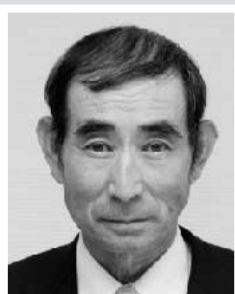
渡部 好行
(焼山 選挙)



安部 文雄
(長沢 共済推薦)



齋藤 ふみ子
(増岡 議会推薦)



渡部 清司
(町原 土地改良区推薦)

※()内は住所
と選出区分



会長に

新野八郎兵衛氏

職務代理者に

伊藤 実千昌氏

任期満了に伴う小国町農業委員会委員選挙が7月5日に告示され、選挙による委員8人が無投票で当選しました。また、小国町議会、山形おきたま農業協同組合、置賜農業共済組合、井の下土地改良区からそれぞれ1人が選任されました。

7月25日、委員改選後初めてとなる農業委員会総会が開催され、会長に新野八郎兵衛氏(再任)、職務代理者に伊藤実千昌氏(新任)が選ばれました。委員の任期は、平成26年7月19日までです。

農業委員会とは

農業委員会は、「農業委員会等に関する法律」に基づき市町村に設置される行政機関で、農業委員は選挙などで選ばれた農業者の代表です。農業委員会では、農地の権利調整や農業経営などに関する調査・研究を行います。

小国町議会 第7回臨時会

小国町議会第7回臨時会が、7月27日に開催されました。6月23日及び7月11日の豪雨災害に対する復旧経費等の一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。

一般会計に

9,360万円を追加

一般会計では、災害復旧経費など9,360万円が追加され、これにより同会計の予算総額は、55億6,120万円となりました。主な内容は、次のとおりです。

■耕地における小規模災害箇所への復旧のため、町単独事業として「耕地小規模災害復旧費補助金」を措置しました。これにより、水利組合等が自力で復旧にあたった場合、復旧経費の8割を町が支援することとなりました。

■近年の集中豪雨により町

内特定地域で水路の増水、住宅等への浸水等が発生していることから、既存水路の排水体系を分析し、今後の改善策を明らかにするための調査を実施することとなりました。

■被災した町道や農林業施設、観光施設などの災害復旧に要する経費を計上しました。

■町道改良工事及び県道拡幅工事等による電柱移転に伴い、添架してある光ファイバの移設に要する経費を追加しました。

■住宅の耐震化や省エネ化などの住宅リフォームを行う場合の工事費の一部支援する「住宅リフォーム総合支援事業」について、今後もし申し込みが見込まれることから、所要額を追加しました。

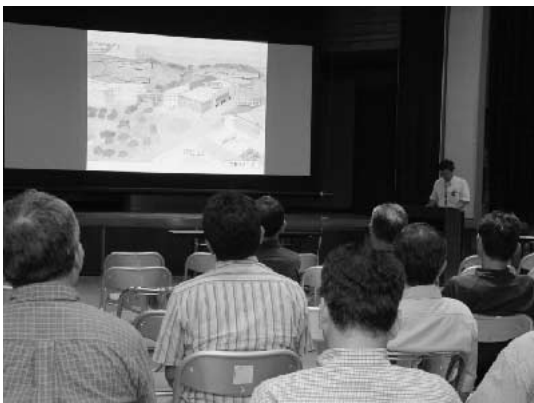
■「おぐに夏まつり」が東日本大震災の早期復興を祈念し、小国町から東北の元気づくりに貢献するため、規模を拡大して開催されることから、実行委員会に対する事業費補助金を増額することとなりました。

新しい小国小学校の 建設内容を説明

小国小学校改築事業町民説明会

小国小学校改築事業町民説明会が、7月20日、総合センターで開かれました。

町教育委員会では、おおむね平成25年度をめどとして町内の小学校と中学校をそれぞれ1校に統合する方針を掲げています。また、その統合母体となる小国小学校について、現在の校舎は老朽化が進んでいることから、新しい小国小



学校を改築することとし、本年度中に設計を取りまとめ、平成24年度から2力年にわたる建設工事を行い、平成26年度の開校を目指しています。

当日は、新しい小国小学校建設の目的や、建設場所選定の経過などこれまでの検討結果が報告されたほか、校舎のイメージ図などをスクリーンに映し出しながら現段階の校舎周辺の平面図などについて説明が行われました。

説明会には約40人の町民が参加し、「もつといろいろな情報を発信してほしい」、「子どもたちの安全・安心を確保するため、防災面や通学路などについてより配慮し、計画どおり建設してほしい」などの意見が出されました。

町では今後、説明会で出された意見等を踏まえ、具体的な設計を進めていきます。



益田 征哉君 塚原 駿一郎君

ライフル競技 全国大会出場 塚原駿一郎君、益田征哉君

7月28日から31日まで広島県安芸太田町で開催された平成23年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に、南陽高校3年の塚原駿一郎君（小国中出身）と同校2年の益田征哉君（小国中出身）が出場しました。6月4日に行われた山形県高校総体で、塚原君はビームライフルの部、益田君はエアライフルの部でそれぞれ3位に入賞し、全国大会への切符を手に入れました。



小関 健男さん（増岡） 瑞宝単光章を受章

平成23年春の叙勲において、元小国町消防団分団長の小関健男さん（増岡）が、瑞宝単光章を受章しました。小関さんは、昭和39年6月から平成15年6月までの39年間にわたり消防団員として火災現場で活躍されました。特に、平成8年10月からは第4分団の分団長として、地域が一体となった防災体制づくりに積極的に取り組んでこられました。

緑のふるさと 協力隊便り

シリーズ
3



もっと吸収したい 「小国の皆さんの 経験と知識」

神田 やよい

緑が芽吹いてきたと思ったらあっという間に草が伸びていたり、山菜の名前を覚えたとしたらいつの間にか旬が過ぎていたり、小国に来てから季節の流れがとても早いと感じている今日この頃です。

山菜に加えて“すげがさ”や“はけご”などの道具づくりにも興味があるので、材料が採れる時期から料理法や道具の作り方まで、できるならなんでも覚えたいくらいなのですが、油断しているとあっという間に旬を過ぎてしまいます。一方で、1年間の旬の

ものを知り尽くして、タイミングを逃さない地元の方々の経験と知識には感服するばかりです。

ずっと小国で暮らしてきたかたの長年の経験を、私のような1年目の者がなんでもかんでも吸収しようというのは無謀だと思いますが、「この時期にはこんなものがあるよ」と、さまざまな地域情報を教えていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします！

この夏、節電対策とあわせて

健康管理にも気を配りましょう

今年は平年より14日早い梅雨明けとなり、小国町でも暑い日が続いています。また、夏場の電力不足の影響を受け、それぞれの事業所や家庭などで、節電対策に取り組みまれていることと思います。夏場の健康管理には、節電対策の取り組みとあわせて、熱中症や食中毒の発生を予防することが大切です。

熱中症とは？

熱中症は、高温多湿な環境下で、作業やスポーツにより、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、だるさ、ひどい時は、けいれんや意識障害など、様々な症状を起こす病気です。家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

熱中症の予防方法は？

■水分・塩分補給

こまめな水分、塩分の補給が大切です。「のどが渇いたな」と思ったら必ず、すぐ

に補給しましょう。また、高齢者、幼児、持病のあるかたは、のどが渇かなくともこまめに補給しましょう。

■体調に合わせた対策

- ・こまめな体温測定をしましょう。（特に体温調整が十分でない高齢者、幼児、障がい者）
- ・通気性の良い、吸湿・速乾の衣服を着用しましょう。
- 熱中症になりにくい室内環境
- ・扇風機やエアコンを使い室内温度を調整しましょう。
- ・室温が上がりにくい環境を確保しましょう。（こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など）
- ・部屋の温度をこまめにチェックしましょう。（部屋には温度計を設置）

- ・体調を考え、扇風機の風向きやエアコン設定温度を効果的に調整しましょう。

■外出の際は

- ・日傘や帽子の着用するとともに、なるべく日陰を歩きましょう。
- ・通気性の良い、吸湿・速乾の衣服を着用しましょう。

食品の衛生管理も大切

冷蔵庫の温度を調節することは消費電力を抑え、節電につながりますが、食中毒を防ぐための衛生管理も大切です。

食中毒の予防方法は？

食中毒の多くは、細菌によるものです。食中毒の細菌を「つけない」、「増やさない」、「やっつける」ことが食中毒予防の3原則になります。

①つけない

食品や手、調理器具はこまめに洗う。

②増やさない

室内に放置しないで、作ったものは早めに食べる。

③やっつける

加熱できる食品は、食品内部分まで十分に加熱する。

平成24年度採用
小国町職員を
募集しています

■職種と人員

- ①一般行政職（初級）②土木技術職（初級）③保育士④看護師⑤介護員

※いずれも若干名

■受験資格

- ▽①及び②は昭和56年4月2日以降に生まれたかた（高校卒業以上、平成24年3月卒業見込み含む）
- ▽③は昭和56年4月2日以降に生まれたかたで、保育士資格をお持ちのかた（平成24年3月までに取得見込みのかたを含む）
- ▽④は昭和46年4月2日以降に生まれたかたで看護師免許をお持ちのかた（平成24年3月までに取得見込みのかたを含む）
- ▽⑤は昭和51年4月2日以降に生まれたかたで介護福祉士資格をお持ちのかた

■受付締切 8月10日（水）

■申込・問合せ先

総務企画課行政管理室
（62-2112）へ

豊かな森林とダム湖に親しみました

～白い森おぐに湖体験～

白い森おぐに湖体験が、7月24日、市野タイチョウ広場周辺などで開催されました。

これは、小国町の森林やダムに親しみながら、その重要性について理解してもらおうと、「森と湖に親しむ旬間」（毎年7月21日から31日）にあわせ、横川ダムの活用を図るために組織された横川ダム水源地域ビジョン推進会（会長・河内昭佐小国町文化協会会長）が初めて主催したものです。

当日は、3つの体験メニューが準備され、白い森おぐに湖での「カヌー体験」、黒沢峠を歩く「ウォーキング教室」、ダム内部や、山形県企業局の横川発電所などを見学する「ダム見学」が行われました。それぞれの会場では、町内外からたくさんのかたが訪れ、楽しそうにカヌーを漕ぐ親子連れの姿や、興味深そうにダムを見学する参加者の姿がみられました。



スポーツでさわやかに交流

～ニュースポーツ大会～

小国町ニュースポーツ大会が、7月18日、町民総合体育館などで開催され、小学生から高齢者まで、多くの町民が参加し、交流を深めていました。

当日は、町内の地区体育協会（全11地区）ごとにチームを編成し、ソフトバレーボール、ペタンク、ゲートボール、グラウンドゴルフの4種目の競技が行われました。この結果、4種目の合計得点により、沖庭地区が優勝、第2位に東南部地区、第3位に北部地区が入賞しました。

飯豊連峰の麓で、優雅な舞

～バリガムラン・舞踊公演～

「バリガムラン・舞踊公演」が、7月23日、旧小玉川小中学校グラウンドで開催されました。

これは、南部地域の青年有志などで構成するサザンクロス（横山隆蔵代表）がガムラングループの「音の森ガムランスタジオ（東京）」を招いて開催したものです。当日は、インドネシア・バリ島などに伝わる曲や踊りが披露されたほか、震災からの復興の祈りを込めて、災いをさける祈りの踊り「Rejang（ルジャン）」を参加者とともに踊りました。



南部地区の夏の楽しみ方を紹介

～夏満喫大作戦～

南部地区の農家で組織する「ぶな清水の郷南部営農生産組合（渡邊正義組合長）」では、地域の自然や文化、農産物の魅力を多くのかたに広めていこうと、本年度から、同地区の宿泊施設を利用する観光客に対して、ホタル観賞会や星空観察、野菜収穫などが体験できる体験交流プラン「夏満喫大作戦」を展開しています。

7月15日には、玉川中里地内でホタル観賞会が行われ、関東地方から4人の観光客が参加。たくさんのホタルが飛び交う幻想的な光景を見つめながら、自然の豊かさを実感していました。

この取り組みは、8月末まで計画されており、マタギの学校やイワナ釣り、野菜収穫体験なども予定されています。



1

①参加者と主催者との記念撮影

2

3

②田んぼの水路に舞うホタル

③夕暮れ時、交流を深めながらホタルが光り出す時を待つ

笑顔キラリ

Smile.04

舟山綾菜さん

DATA

- ふなやま あやな
- 年齢/19歳
- 住まい/兵庫館
- 趣味/ドライブ、音楽鑑賞

Funayama
Ayana



今年3月、小国高校を卒業し、金十商店で働いています。

接客業に関心があり、今の職業を選びました。鮮魚コーナーで商品のバック詰めや陳列を行っていますが、日ごろから、お客様の顔を見て笑顔であいさつすることを心がけています。お客さんに顔を覚えてもらい、声をかけてもらえるとうれしいです。

小国町は、みんなで地域に貢献しようという気持ちが強い町だと思います。今後は、町内でボランティア活動などにも挑戦してみたいと思っています。

募集

町営住宅入居者募集

■あけぼの団地

3DK 2戸(3階)

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

■岩井沢勤労者住宅

3DK 2戸(3階・1階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 8月9日(火)

■入居時期 8月下旬以降

■申込・問合せ先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 3戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 8月12日(金)

■入居時期 9月下旬

■申込・問合せ先 県営住宅指定管理者 西王不動産置賜事務所(0238-2412332)へ

平成24年度「つや姫」生産者募集

平成24年度「つや姫」の生産者を募集します。栽培については、一定の要件がありますので、栽培を希望されるかたは、下記にお問い合わせください。

■募集期限 8月19日(金)

■申込・問合せ先 産業振興課 農林振興室、農協小国営農センター(62-5588)、小国米穀商業共同組合(62-12021)へ

西置賜行政組合消防職員採用試験のお知らせ

■採用予定人員 6人程度

■受験資格

昭和58年4月2日以降に生まれ、高校卒(平成24年3月までに卒業見込みのかたを含む)以上の学歴を有するかたで、長井市小国町、白鷹町、飯豊町の居住者又は当該地域に居住予定のかた

■受付期間

8月23日(火)～9月14日(水)、午前8時30分～午後5時

(土日を除く)

※受付最終日の日時必着

■受付場所

西置賜行政組合事務局

■試験日及び試験会場

10月16日(日)

長井市勤労センター

■採用予定日

平成24年4月1日

■受験申込書の請求先

西置賜行政組合事務局、消防本部・消防署、消防署各分署

■申込・問合せ先

西置賜行政組合事務局(長井市平山4460 ☎88-4336)へ

ご案内

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会

■日時 8月6日(土)

①午後1時～午後3時15分

②午後4時～午後6時15分

■場所 総合センター

■チケット

前売り1,000円、当日1,200円、高校生以下500円

■問合せ先 おぐにエネルギー

の地産地消を考える会 高橋(62-2903)へ

さいわい荘盆踊り大会

■日時 8月10日(水)

子どもの部 午後7時～大人の部 午後7時30分～

■場所 さいわい荘

■その他 室内で開催しますので、内履きを持参してください。

■問合せ先 さいわい荘(62-3821)へ

狩猟免許試験

■日時 9月11日(日)

■場所

村山総合支庁本庁舎

■受験資格

県内に住所を有し、平成23年度において狩猟免許を受けようとするかたで、9月11日において20歳以上のかた

■受験手続

申請書に必要書類を添えて、申し込んでください。

■申込期間

8月15日(月)～9月2日(金)

■問合せ先 山形県生活環境部 みどり自然課(023-630-2208)へ

今月の町長と語る日は8月25日(木)です。お気軽においでください。
皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238 (62) 2611

9月の子育てカレンダー

■問合先 健康福祉課または子育て支援センターへ

◆対象となるかた
■あそびの広場、
なかよし広場
入園前のお子さんと
保護者

■4カ月児健診

平成23年5月生まれ

■1歳児健診

平成22年9月生まれ

■1歳6カ月児健診

平成22年1月、2月、
3月生まれ

■ポリオ予防接種

平成23年1月、2月、
3月、4月生まれ

■両親学級

平成23年10月から12
月に出産予定のかた



会場・集合場所

◆健康管理センター
◇おぐに保育園

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 ◇なかよし広場 10:00~11:30	2	3
4	5	6 ◆あそびの広場 10:00~11:30	7 ◆ポリオ予防接種 受付 13:00~13:30	8 ◇なかよし広場 10:00~11:30 ◆両親学級 13:30~16:00	9	10
11	12	13 ◆あそびの広場 子育て講座「簡単 おやつ作り」 10:00~11:30	14	15 ◇なかよし広場 10:00~11:30	16 ◆1歳6カ月児健診 受付 12:30~13:00	17
18	19	20 ◆あそびの広場 10:00~11:30	21	22 ◇なかよし広場 10:00~11:30	23	24
25	26	27 ◆あそびの広場 10:00~11:30	28	29 ◇なかよし広場 10:00~11:30	30 ◆4カ月児健診 受付 13:10~13:20 ◆1歳児健診 受付 13:00~13:10	1

求人情報

右の表は、7月26日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町を主な就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますのでご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(Tel84-8609)へお問い合わせください。

今月の納税 2011.8

8月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 8月26日(金) 水道料
- 8月31日(水) 町県民税(2期)、国保税(2期)、後期高齢者保険料(2期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先 町民税務課税政管理室へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(有) 蔵王ストアー	レジ係(販売員)	1人	8:45~18:00
大河内産業(有)	砂利プラント運転士、一般事務員、ダンプ・重機運転士他	8人	8:00~17:00
大和建設運輸(株)	重機運転手	2人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
アクサ生命保険(株) 長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15~17:00
医療法人社団緑愛会 満天の家	看護師・准看護師	1人	8:30~17:30
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30~17:30
(株) 横川建設	土木施工管理技士(急募)、重車輛オペレーター	4人	8:00~17:00
伊藤建築 伊藤 一郎	建築大工(見習い可)	1人	8:00~18:00
KATEKYO学院 長井校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00~21:00、 18:00~22:00、 19:00~21:00、又は 10:00~22:00の間の 2時間

大相撲東関部屋小国合宿

自由に見学できますので、ご声援をお願いします。

- けいこ日時 8月16日(火)～21日(日) 7:00～10:00
- けいこ会場 コバレントマテリアル(株)
小国事業所の相撲場
- 問合先 東関部屋小国後援会
都築廣男(62-3278)へ



～中学生の熱い思いをお聞きください～

第50回少年の主張小国地区大会

「少年の主張小国地区大会」は、今年で50回目を迎え、記念大会として開催することになりました。皆さんの来場をお待ちしています。

- 日 時 8月31日(水) 13:30～15:30
- 場 所 小国中学校体育館
- 弁 士 町内各中学校から計10名程度
- 問合先 町民税務課町民生活担当へ

職場の労働関係で お困りではありませんか？



山形県労働委員会は、労働者個人と事業主との間の労働関係トラブルの解決をお手伝いします。解雇、賃金、配置転換などでお困りの場合は、無料・秘密厳守ですので、お気軽にご相談ください。

- 問合先 置賜総合支庁労働相談窓口(0238-26-6097)または山形県労働委員会事務局(023-630-2793)へ

各種相談

年金相談

- 日 時 8月17日(水)
10:30～14:30
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢年金事務所職員
- 問合先 町民税務課住民窓口担当へ

人権相談

- 日 時 8月24日(水)
10:00～12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合先 町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談会

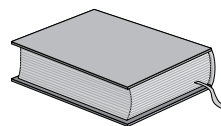
- 日 時 8月27日(土)
10:00～15:00
- 場 所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

弁護士無料法律相談

- 日 時 9月2日(金)
10:00～15:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

総合センター図書室から

■ 休館日……毎週月曜・祝日



● 新着図書

- ◆ 漂砂のうたう 木内 昇
- ◆ 八日目の蟬 角田 光代
- ◆ 県庁おもてなし課 有川 浩
- ◆ 人生で大切なこと 松下幸之助
- ◆ 自然農薬のつくり方と使い方 農文協

- ◆ すぐにできるスポーツマッサージ 白木 仁
- ◆ 国際問題がわかる! 世界地図の読み方 池上 彰
- ◆ 続・体脂肪計タニタの社員食堂 タニタ
- ◆ 青少年読書感想文課題図書
- ◆ YBC読書感想文指定図書



- 小国町役場 062-2111(代) 062-5464
- 行政管理室 062-2112 ●政策企画室 062-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 062-2260
- 国保医療担当 062-2261 ●税政管理室 062-2403 ●会計室 062-2406
- 農林振興室 062-2408 ●商工観光室 062-2416 ●建設管理室・水道管理室 062-2431
- 建設技術室 062-2432 ●議会事務局 062-2448

固定資産税に関するお知らせ

非木造家屋をお持ちのかたへ

固定資産評価基準の改正に伴い、平成24年度から非木造倉庫の減価に関する基準が変わります。対象要件は、保管温度プラス10℃からマイナス20℃の倉庫で、平成24年度から「冷蔵倉庫」として取り扱われます。要件を満たす非木造倉庫を所有されているかたはご連絡いただきますようお願いいたします。

建物を取り壊されたかたへ

建物の一部または全部を取り壊した場合は、「家屋滅失届」の提出をお願いします。

■問合先 町民税務課課税担当へ

国民健康保険被保険者証更新のお知らせ

現在、国民健康保険加入者に交付しております「国民健康保険被保険者証」の有効期限は平成23年8月31日までとなっております。新しい被保険者証は8月末までに世帯主あてに郵送します。古い保険証については、町民税務課に回収箱を設置しますので、9月1日以降にご返却ください。

◎学生用の被保険者証について

学生用の被保険者証については更新の手続きが必要です。在学証明書または学生証（写し可）を添付の上、申請書を町民税務課まで提出してください。なお、8月19日(金)まで申請していただくと、ご家族の分と一緒に郵送できます。

■問合先 町民税務課国保医療担当へ

～国保と後期高齢者医療に加入しているかたへ～

「限度額適用認定証」をご存じですか？

◎限度額適用認定証は、入院した際の医療費等について、医療機関窓口での負担を軽減するために必要なものです。（適用されるのは、入院の場合のみで、窓口での自己負担限度額は下表のとおりとなります）

◎国保の70歳未満のかたについては、すべてのかたが限度額認定証の交付を受けることができます。

◎住民税課税世帯の国保の70歳以上のかたと後期高齢者医療に該当するかたが入院した場合は、限度額適用認定証がなくても、あらかじめ医療機関の窓口で自己負担限度額までしか請求されません。住民税非課税世帯の方（低所得者Ⅰ・Ⅱの区分のかた）については限度額認定証が必要です。

◎限度額認定証の交付を受けるためには申請が必要です。保険証と印鑑をお持ちになり、役場町民税務課で手続きしてください。

■問合先 町民税務課国保医療担当へ

◆1ヶ月当たりの自己負担限度額

○国保の70歳未満のかたの場合

所得区分	自己負担限度額
上位所得者	150,000円 + (医療費 - 500,000円) × 1%
一般	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%
住民税非課税世帯	35,400円

○国保の70歳以上のかたと後期高齢者医療のかた

所得区分	自己負担限度額	
	外来	外来 + 入院
現役並み所得者	44,400円	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%
一般	12,000円	44,400円
低所得者Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ	8,000円	15,000円

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国町 嶋 貫 日 依 (大 介 静)
 玉 川 伊 藤 翔 太 (敬 太 紗 未)
 小国町 佐 藤 旺 士 郎 (智 仁 里 麻)
 杉 沢 佐 藤 誠 史 郎 (勝 則 和 歌 子)

結婚おめでとうございます。

(北 木 村 徹
 兵 庫 館 渡 邊 さくら
 (北 高 野 寛 人 子
 小 国 町 小 林 香 子

おくやみ申し上げます。

沼 沢 吉 澤 ミ ナ (84)
 大 石 沢 高 橋 ハナヨ (89)
 小国小坂町 大 沼 一 二 (80)
 岩 井 沢 高 橋 吉 雄 (90)
 小国小坂町 今 新一郎 (90)
 玉 川 伊 藤 久 雄 (78)
 長 沢 齋 藤 一 男 (85)
 五 味 沢 齋 藤 鉄 江 (83)
 岩 井 沢 鈴 木 一 雄 (75)
 小 渡 金 ウ メ (84)
 北 横 井 通 (72)
 沼 沢 渡 部 繁 (93)

人口のうごき

人 口 男 … 4,354人 (－ 8)
 女 … 4,597人 (－ 4)
 計 … 8,951人 (－ 12)

世帯数 3,245世帯 (－ 5)

平成 23 年 6 月 30 日現在

伝えよう! 広めよう!

シリーズ 16

おぐにの食文化

Oguni Slow Food Recipes



だ し

材 料 ナス…………… 2 個 キュウリ…………… 2 本
 ミョウガ…………… 2 個 青ジソ…………… 8 枚
 オクラ…………… 4 本 白ゴマ…………… 少々
 かつお節…………… 少々 だし入りしょうゆ…………… 適量

作 り 方 ① ナスと青ジソはみじん切りにして塩水にさらしてあくを抜く。
 ② キュウリとオクラ、ミョウガもみじん切りにする。
 ③ ①と②を水切りして、容器に入れ、白ゴマとかつお節を入れ、だし入りしょうゆで味付けする。

伝承者 小嶋 信子さん (杉沢)

“だし”は、山形県の各地で作られている郷土料理で、各家庭で食べられていると思います。今の時期、小国では新鮮な夏野菜がたくさん採れますし、上記の材料のほかにも、山菜のミズを入れたり、ヤマイモを入れたりしても美味しくなると思います。



編集後記

横川ダム水源地域ビジョン推進会主催の白い森おぐに湖体験。体験メニューのひとつである「カヌー体験」に私も挑戦してみました。青空の下、普段見ることのない湖上からの景色は、とても新鮮に感じました。また、スポーツクラブ Yui スタッフ皆さんの熱心な指導によって、小さなお子さんを連れのお父さんお母さんがたも、安心して楽しめたようでした。新しい地域の魅力を体感した一日となりました。(加藤)